

だいにく通信 第十号「夏の号」

ひょうご

日頃より当神社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。今年は例年よりも早く台風が発生し、大きな被害が発生しています。猛暑にならぬことを祈りつつ、日々ご奉仕しております。

社報「だいにく通信」も十回目となりました。「夏の号」をお届けします。社殿・社務所新築と境内整備が終了して早半年が過ぎました。まだまだ行き届かない点が多々あるかと存じますが、崇敬者のみなさまに安心してお参りいただける環境にするため、引き続き努力していきたいと考えております。

今後ともなにとぞよろしくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

大國神社 宮司 大島資生

大國神社の今

去る四月十八日に境内入口のスロープ部分に手すりを設置しまし



た。さらに、歩行の際の躓き防止のため、四月二十四日には、境内入口の縁石と、社殿正面石段の角を削りました。今後も、お参りしていただきやすい境内をめざしてまいりますと存じます。お気づきの点などお知らせいただければ幸いです。(写真は今回設置した手すり)

お宮あれこれ〜絵馬・境内の「小槌」〜

一 絵馬の授与を始めました

工事完成に合わせて、当社オリジナルの絵馬を調製し、社頭でお出ししています。表面には大国さまのもつ小槌をあしらいました。特に、「〇〇祈願」と記さず、お求めになるかたご自身に書いていただくようにしました。裏面は無地ですので、願い事を自由に書いていただけます。

ところで、このような願い事を記す木の板を、なぜ「絵馬」と言うのでしょうか。簡単ではありませんが、少しご説明したいと存じます。



奈良時代の『続日本紀』には、神の乗り物として馬、神馬（しんめ、じんめ）を神社に奉納していたことが記されています。しかし、馬は高価でなかなか献納できませぬ。また、神社のほうも、献納された馬の世話をするのは大変でした。そのため、徐々に木や紙、土で作った馬の像で代用するようになりました。そして、平安時代から板に描いた馬の絵で代えられるようになったそうです。馬を神の乗り物だとすることに

関連して、お稲荷さんのことについて少しお話いたしました。お稲荷さんのご祭礼は毎年二月の最初の午の日、いわゆる「初午」です。これは、農村部での信仰に起源があるようです。農村では山が水源であることと関連して、春になると山の神が里に下りて田の神となり、秋の収穫を終えると山に帰るとされてきました。稲荷の神は、食べ物の神である御食津神（みけつかみ）だとされているため、このような考え方が影響したのではないかと思われます。そして、春になると馬に乗って山から里へやってくるということから、初午が祭礼日となったと言われています。この話にも、馬が神様の乗り物だという考え方が反映されております。

もともとの馬の姿とは大きく形を変えた絵馬ですが、願い事を、疾走する馬のようにたちどころに神様のもとに届けてほしい、そんな気持ちが絵馬を書くという習慣にあらわれているように思います。わたくしどもも、皆様の真摯なお願ひ事の成就に向けて、少しでもお手伝いできればと考え、この絵馬を長くお出ししてまいります。（下段の写真は絵馬掛け）



二 境内の「小槌」

絵馬に使用した「小槌」は大国さまのシンボルとして、また縁起物としても人気のある意匠です。当神社の境内には随所に小槌があしらわれております。今回はそのうちのいくつかをご紹介します。ましよう。

(1) 最初は、社殿正面の賽銭箱にあるものです。昭和二十五年三月の日付があり、ご奉納下さった、熊谷市のかたがたのお名前が刻まれています。(写真上)

(2) 写真が小さくて申し訳ありません、こちらは、本殿屋根・棟の両脇の鬼瓦部分にあしらったものです。拝殿の鬼瓦にも同じように小槌の意匠が用いられています。(写真下)



(3) 新築工事の際して、社務所側面、大通りに面したところに設けたものです。スチロール素材を使っております。(写真上)

このほかにもいくつかあります。あと二つご紹介します。(写真左上・下)
ご参拝の折に、探してみてください。



祭礼・祈祷のご案内

○次回甲子祭

八月三十一日（金） ご祈祷受付時間 午前五時～十二時

○開運千人講祈祷祭 毎月一日（午前六時～正午まで）

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは以下の電話番号にお願いいたします。

不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話してください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付 商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行っております。祈祷日時については、お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三三二九一八七九三〇

お急ぎの場合は携帯電話へどうぞ ↓ ○八〇一九八七七八七二六

eメール dai kokujinja@gmail.com

ウェブサイトの案内

当神社のウェブサイト（ホームページ）を公開しております。

神社からのお知らせ・神社の由緒のほか、「だいきく通信」の内容も一部抜粋して掲載しております。さまざまなお知らせに活用したいと存じます。機会がありましたら、ぜひご覧下さいませ。なお、ツイッターにも参加しております（アカウントは @dai kokujinja です）。

<http://www.dai kokujinja.org>

次号発行予定

「だいきく通信第十号」、いかがでしたか。次号「秋の号」は、十月三十日の甲子祭に発行予定です。

「だいきく通信」第十号 平成二十四年七月二日発行

編集・発行 大國神社社務所

〒一七〇〇〇〇〇三 東京都豊島区駒込三二二一十一